

戸田市市制施行50周年記念事業 実施計画書

戸田市市制施行 50 周年記念事業検討委員会

目 次

◆はじめに	．．．	1
第1章 市制施行50周年記念事業概要	．．．	2
第2章 祝賀式典事業	．．．	4
第3章 記念事業	．．．	4
第4章 連携事業	．．．	8
第5章 広報・PR事業	．．．	8
第6章 検討委員会について	．．．	14
第7章 今後のスケジュール	．．．	15
◆参考資料	．．．	21

はじめに

平成 28 年 10 月 1 日、戸田市は市制施行 50 周年を迎える。

昭和 41 年 10 月 1 日に、埼玉県内で 24 番目の市として誕生した戸田市。当時の人口は 5 万 5 千人あまりであったが、その後埼京線の開通などにより急速に都市化し、現在人口は 13 万人に増加、平均年齢も 39.7 歳（平成 26 年 1 月 1 日現在）と県内で一番若いまちへと成長した。

50 周年という節目の年は、それまでの成長過程を改めて振り返り、先人達への敬意とわがまち戸田への愛着を深めると共に、さらに魅力的なまちへと進化していくため、新たに歩みを進める機会でもある。

そこで、戸田市市制施行 50 周年記念事業検討委員会では、この半世紀に一度の大切な節目を市を挙げてお祝いし、未来を担う子どもたちが、将来に向けての夢を抱けるような機会にすることを視点に置き、5 回の会議を実施し、記念事業の基本方針やテーマ等について検討を重ね、この実施計画書の策定に至った。

また、今年度は、約 2 年間にわたり市民の皆様と共に検討を重ねてきた「自治基本条例」が平成 26 年 7 月に施行され、「協働のまちづくり元年」として始動した初年度でもある。ここに市制施行 50 周年に向けての検討委員会が立ち上がったことは、宿命のようにも感じられる。市制施行 50 周年に向けての取り組みが、これからの「市民主体のまちづくり」に大きな意味を持つものと期待している。

第1章 戸田市市制施行50周年記念事業概要

1 事業目的

市制施行50周年は、戸田市が未来に向けてさらに歩みを進める大きな節目である。記念事業についても単なる形式的な行事ではなく、市民とともに祝う重要なイベントと捉え、「行政と市民、企業等が一体となり、戸田の歴史と歩みを振り返り、未来へ羽ばたく起点とする」ために実施するものである。

2 基本方針

戸田市は、平成28年(2016年)10月1日に市制施行50周年を迎えます。昭和41年(1966年)の市制施行から半世紀という大きな節目の年にあたり、先人たちが築き上げてきた歴史と伝統を振り返り感謝するとともに、輝かしい未来に向けた歩みを進めるため、子どもたちを含めた若い世代の皆さんが、夢や希望を抱くことのできる絶好の機会とします。

また、市制施行50年を新たな起点として、市民の皆さんが改めて住み良さを実感し、「ふるさと戸田」への誇りや愛着心をより深めてもらうことで、皆さんが互いに協力しながら戸田のまちをつくっていく気運をより高めていくこと。さらに、戸田市の魅力を内外に積極的に発信し、知名度の向上を目指します。

これらの実現に向け、すべての市民の皆さんが主役として輝き、そして躍動できる場としてふさわしい記念事業を展開していきます。

3 テーマ

(1) 「深める」

先人たちが築き上げてきた歴史と伝統に敬意を表すとともに、戸田市の魅力を再確認する機会とし、「ふるさと戸田」への誇りと愛着を深める。

(2) 「高める」

市民・団体・企業等それぞれが記念事業を実施することで、全市をあげて50周年を祝い、地域力をより高める。

(3) 「広める」

知名度の向上を目指すため、市内外に向けて情報を発信し、戸田市の魅力を広める。

(4) 「温める」

次代を担う子どもたちにとって、生涯思い出に残るような事業を実施し、子どもたちの心にある未来への夢や希望を温める。

4 実施時期

平成28年4月1日～平成29年3月31日

記念式典

平成28年10月1日(土)

5 記念事業の構成

◆祝賀式典事業

市制施行 50 周年記念式典

平成 28 年 10 月 1 日 (土)

◆記念事業

記念事業

行政が主体となって実施する事業。冠事業、企画事業。

連携事業

市民や企業等が実施する事業。冠事業、市の後援・共催事業。

広報PR事業

広報紙、広報番組、SNSなど、各種媒体を使った積極的な情報発信。シティセールス。

6 準備体制

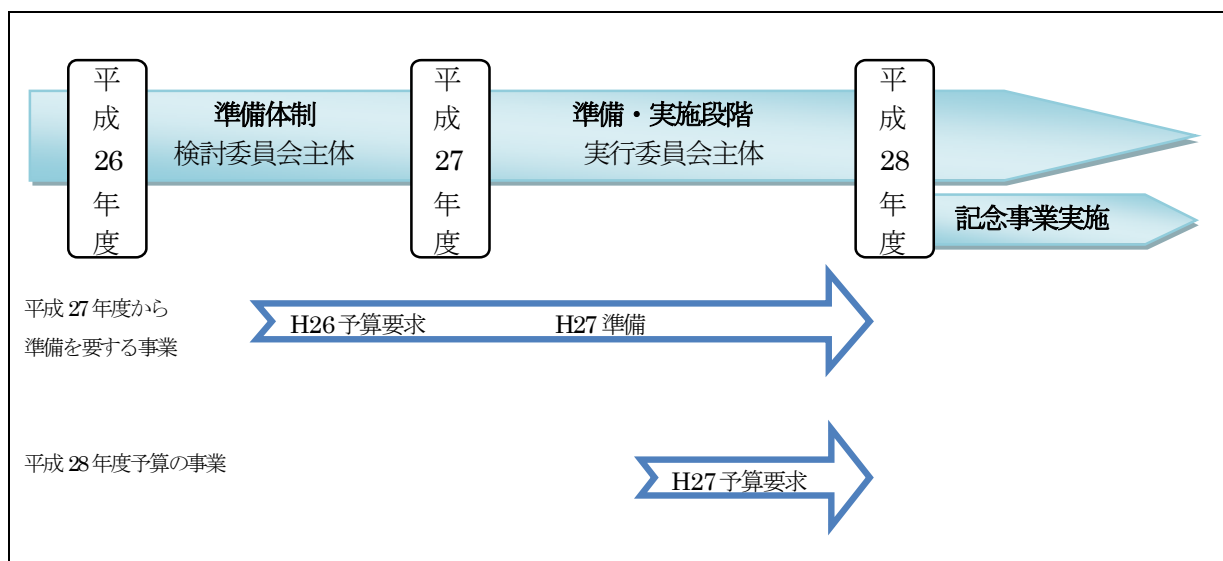
平成 28 年度の実施に向け、平成 26 年度より検討段階、平成 27 年度より準備・実施段階を経て実施することとする。

◆検討段階（平成 26 年度）・・・「検討委員会」を設置。

事業実施の方針を定め、どのように実施するのか計画を策定する段階。

◆準備・実施段階（平成 27 年度～平成 28 年度）・・・「実行委員会」を設置。

祝賀式典や事業の実施に向け、準備を進める段階。



第2章 祝賀式典事業

市制施行50周年記念事業の中心となる祝賀式典、「市制施行50周年記念式典」は、市制施行50周年の記念日である平成28年10月1日（土）に戸田市文化会館で実施する。

市民をはじめ、姉妹都市・友好都市等からの来賓など、多くの方に出席いただき、式典では、市政功労者、キャッチコピーやロゴマーク作成者に対する表彰等を行う。詳細については、平成27年度に設置される「戸田市市制施行50周年記念事業実行委員会」で検討する。

第3章 記念事業

第1章の「5 記念事業の構成」で述べたとおり、記念事業は、実施主体、事業の性格により、記念事業、連携事業、広報・PR事業の三つに分けられる。

まず、記念事業であるが、行政が主体となって実施する記念事業である。機運を盛り上げるために、幅広い分野で展開することが望まれる。例年実施している事業に冠を付け、事業内容を周年に合うように工夫するもの、新たに企画し1回限り実施するもの、その後も継続していくものなど、様々な形態が考えられる。

「市制施行50周年記念事業一覧」は、各課・団体に対して市制施行50周年記念事業の実施予定について照会した結果である。調査時点（平成27年2月）では、50周年を記念して新たに企画される企画事業は9件、既存の事業に「市制施行50周年」の冠付けをして実施される冠事業は29件挙げられた。事業予算計（概算）は169,240,740円となっており、内訳は企画事業が40,460,000円、冠事業が128,780,740円である。

市制施行50周年記念事業一覧

区分	事業名	日時	事業内容	実施主体	事業予算	見込み人数		
企画	戸田スポーツフェスティバル	H28冬季	市体育協会、レク協、少年団など関係団体が一堂に会して、市民がスポーツ・レクリエーションの体験ができるイベントを実施する。また、ポート学生等の参加を得て、ポートコースの紹介をする。	協働	公益財団法人戸田市文化スポーツ財団等	8,000,000	約2,000人	文化スポーツ課
企画	公募型スポーツ推進事業	H28.夏季公募	文化スポーツ課及びスポーツセンター所管の既存の教室等を公募型に移行し、広く市民企画・主催を支援していく。	協働	公益財団法人戸田市文化スポーツ財団	2,000,000	約1,000人	文化スポーツ課
企画	50周年記念植樹(どんぐり植樹)	未定(11月～3月に開催予定)	水と緑のネットワーク形成プロジェクトの関連事業。平成23年度に児童がひろい育てたどんぐりの苗木を、荒川水循環センター上部利用公園へ植樹することで、緑を育み守る心を育てる。50周年記念として実施することで、地元住民への関心を集め緑化の普及啓発を図りたい。	市単独		150,000	100人	環境政策課
企画	市民公開フォーラム	平成28年10月	戸田市の救急体制を市民に公開し安心で安全な暮らしを守る救急体制を理解してもらうことを目的とする。 ①救急ワークステーション②当市の救急体制③基調講演(運動中における突然死の予防)	市単独		100,000	300人	消防総務課
企画	市制施行50周年記念映像作品制作		市制施行50周年記念映像作品を制作する。市制施行時からの市の50周年の歩みや現在の戸田市の姿などをまとめた映像作品とし、関係者への配布や式典での上映を見込む。	市単独		3,971,000		政策秘書室
企画	戸田市ご当地ナンバー	H28.10.1	戸田市オリジナルの原付自転車ナンバーを作成交付する	市単独		1,836,000	2,000人	税務課
企画	戸田市史編さん刊行事業	平成28年度	昭和60年に終了した市史編さんを、現在まで収集・整理した史料をもとに、昭和から平成の市政の歩みを記録する。郷土への誇りと愛着をさらに高め、未来に向けての市政発展の礎とするため、平成26年度から着手し、50周年を迎える28年度に刊行する。	市単独		9,403,000		図書館・郷土博物館
企画	全国市町村交流レガッタ戸田大会	H28.9.17・18	市制50周年を記念して、全国市町村交流レガッタ戸田大会を開催する。大会は、全国のポート場を有する自治体持ち回りで毎年開催しており、ポート愛好者を増やすきっかけとなる。	市単独		15,000,000	約1,000人	文化スポーツ課
冠	とだ環境フェア2016	未定(例年商工祭と同時開催)	戸田市内の環境市民団体や事業者等による自然・環境への啓発や環境団体の活動発表の場として開催。	協働		393,000	20,000人	環境政策課
冠	第10回13万人のキャンドルナイトinとだ	未定(例年6月上旬に開催)	ロータリークラブを中心として、各家庭及び事業所にて電気を消し、キャンドルを灯す節電を訴える。	協働		350,000	1,000人	環境政策課
冠	とだ共同参画フォーラム	未定		協働		600,000	150人	協働推進課
冠	ふるさと祭り	8月		協働		3,500,000		協働推進課
冠	ふらっと広場TOMATO	10月頃		協働				協働推進課
冠	戸田橋花火大会	8月第1土曜日	打ち上げ花火約5,800発の中に、50周年を記念する花火の打ち上げを盛り込むなどの対応可能。	協働		70,000,000	400,000人	経済産業振興課
冠	花フェスタ(植木市)	4月中旬	植木・山野草・鉢物などを展示販売し、美しい花や緑を増やすことを目的に開催する農の催事。	協働	主催は戸田市観光協会	1,400,000	15,000人	経済産業振興課

区分	事業名	日時	事業内容	実施主体	事業予算	見込み人数		
冠	商工祭	10月下旬	市民との融和を図りつつ地域に貢献する商工業の総合的振興を目的に開催する商工の催事。	協働	主催は戸田市商工会	4,600,000	90,000人	経済産業振興課
冠	児童センター運営事業	未定	施設だより等にロゴ及び市の歴史等を掲載する。	協働	指定管理者			児童青少年課
冠	成人式・はたちの集い	平成29年1月	プログラム等の印刷物に市の歴史等を掲載する。市の歴史等を紹介するコーナーの設置を検討する。	協働	市・はたちの集い実行委員会	3,438,000	1,000人	児童青少年課
冠	戸田市賀詞交歓会	1月初旬	市民をはじめ、福祉、教育、文化、医療、産業、金融等、各分野で活動されている関係者、議会議員、行政関係者等が一堂に会し、新年を祝い、市民相互の親睦を深める。	協働	賀詞交歓会実行委員会	1,450,000	約500人	政策秘書室
冠	戦争を語りつぐ平和の集い	平成28年11月	3年に一度実施している「戦争を語りつぐ平和の集い」(一部：戦没者追悼式、二部：講演会等)について、50周年記念事業として企画する。	協働	戸田市遺族会との協働	300,000	100人	福祉総務課
冠	戸田市健康福祉まつり	11月 第2日曜日	市民が、健康づくりについて学び行動できるように、積極的に情報の発信、啓発を行うことで、市民の健康意識の向上を図る。	協働		800,000	900人	福祉保健センター
冠	ピンクリボンウォークIN戸田市	10月 第1日曜日	がん撲滅運動の一環とし、乳がん月間に福祉保健センターから戸田中央総合病院までウォークしながら、市民へ乳がんの早期発見・治療のため情報を発信、啓発する。	協働		1,700,000	2000人	福祉保健センター
冠	戸田マラソンin彩湖2016	H28.11.20	例年、全国から7千人以上の参加がある「戸田マラソン」。市内外に広く市制50周年をPRする。	協働	戸田マラソン実行委員会	8,700,000	約8,000人	文化スポーツ課
冠	戸田市文化祭・芸能フェスティバル	H28.10・11月	文化協会加盟団体を中心に文化祭を開催。市民に、広く市制50周年をPRする。	協働	戸田市文化協会	1,500,000	約1,000人	文化スポーツ課
冠	戸田市美術展覧会(市展)	H28.10月	市制35周年記念事業として発足した「市展」。洋画や写真、工芸など6部門の200点以上の作品を展示しており、市民に、広く市制50周年をPRする。	協働	戸田市市展実行委員会	3,300,000	約3,000人	文化スポーツ課
冠	戸田市民ミュージカル	H28.12月	市制40周年記念事業として発足した、文化会館市民文化推進プロジェクト「市民ミュージカル」。毎年、出演者を募集し、一流演出家の指導の下、後援を披露している。	協働	公益財団法人戸田市文化スポーツ財団	4,500,000	約1,000人	文化スポーツ課
冠	戸田音楽祭	H28.下半年	市制40周年記念事業として発足した、「戸田音楽祭」。平成26年度開催から公募式として実施され、多くの音楽家たちの発表により音楽文化の向上に寄与している。	協働	公益財団法人戸田市文化スポーツ財団	2,176,000	約1,000人	文化スポーツ課
冠	戸田市民体育祭地区大会	H28.10月	市内6地区で開催される市民体育祭地区大会は、町会を中心に開催され、地域コミュニケーションの向上に寄与している。	協働	市民体育祭地区大会実行委員会	3,670,000	約3,000人	文化スポーツ課
冠	第44回環境月間記念植樹式	未定(例年6月下旬に開催)	環境月間中の緑化普及啓発を目的とし、市の施設へ植樹を行う。50周年事業としては、本庁舎を植樹場所とし、50周年の記念標柱を設置する。	市単独		137,000	50人	環境政策課
冠	お弁当を持って戸田ヶ原へ行こう	未定(例年4月下旬に開催)	戸田ヶ原自然再生事業のPRを目的とし、サクラソウが開花する時期に合わせて実施するイベント。市民ガイドによる紹介やクイズラリーを実施するほか、お弁当を持参した方へ記念品を配布する。	市単独		—	600人	環境政策課

区分	事業名	日時	事業内容	実施主体	事業予算	見込み人数	
冠	サクラソウ植えつけイベント	未定(例年2月中旬に開催)	戸田ヶ原自然再生事業を協働で行うため、市民や市内企業が参加してサクラソウを植えつけるイベント。とだみちゃんグッズ(50周年版)を作成し、参加者へ記念品として配布する。(どんぐり植樹等他のイベントでも使用予定。)	市単独	500,000	120人	環境政策課
冠	戸田市子ども議会	7月下旬	市政にからんだ一般質問を行う。	市単独	176,740	150人	教)指導課
冠	戸田市小中学校音楽会	11月中旬	開会式で参加者(児童生徒)が市歌を歌う。プログラムにも「市政施行50周年」の文言を入れる。	市単独	1,790,000	700人	教)指導課
冠	戸田収穫祭	11月下旬	食育及び地元産野菜の展示販売並びに安全かつ安心な農産物の啓発を目的に開催する農の催事。	市単独	1,500,000	3,000人	経済産業振興課
冠	子育て講演会	11月	行政センター3階子育て広場で年3回開催している子育て講演会(定員20人)が毎回盛況であることから、50周年記念事業として、拡大し実施する。	市単独	500,000	100人	こども家庭課
冠	消防フェアinとだ	H28.11.12	毎年イオンモール北戸田を会場とした消防フェアに式典を加え、防火ポスターコンクールの表彰式等を行う。また、芸人等に1日消防長を依頼し、火災予防広報活動を実施することにより、市民の防火・防災意識の高揚を図るとともに、消防車両の展示等による消防力のPRを図り、消防行政への理解を深め、参加協働を促進することを目的とする。	市単独	1,000,000	800人	消防総務課
冠	市勢要覧作成		定期的(前回は2008年)に発行している市勢要覧について、50周年を記念し、市の50周年の歩みなどを掲載した市勢要覧を作成する。	市単独	10,800,000		政策秘書室

区分	事業名	日時	事業内容		事業予算	見込み人数	
企画	「(仮称)戸田市市制施行50周年記念」競走の実施	未定	開催期間中に、戸田市内の優良推奨品の販売等を行う	戸田競艇組合	--	入場者数 4,000名/日	戸田競艇組合

区分	件数
企画	9件
冠	29件

企画事業・・・50周年を記念して新たに企画する事業

冠事業・・・既存の事業に「市制施行50周年」の冠をつけて実施する事業

事業予算計	169,240,740
-------	-------------

第4章 連携事業

連携事業とは、市民や企業等が実施する事業である。市は50周年記念の冠付けや、後援・共催などの形で関与する。

1 50周年祭について

検討委員会では、50周年記念事業は「市民全員が参加する」ということを念頭において議論を進めた。その中で、提案されたのが、“市民がゲストではなく、キャスト”となるお祭り「(仮称)50周年祭」の実施である。

従来のような行政主導のお祭りではなく、場所の提供以外は全て市民の手作りによるお祭りを開催することで、50周年をお祝いしようという企画である。

検討委員会では、市制施行50周年記念式典と同日である、平成28年10月1日に、市役所周辺で開催することを検討した。しかし、地域性や立地の問題をクリアして全地区の方々が一堂に会することの難しさや、道路使用許可などの規制の問題もあることなどから、市内5地区の小学校などでそれぞれ同日に同様の趣旨でイベントを開催することを、引き続き実行委員会で検討していくこととなった。

2 公募による連携事業

多くの市民や企業等が50周年記念事業に参加し、市全体で50周年を盛り上げていくためにも、連携事業を広く公募し、50周年記念ロゴマークやキャッチコピーの使用を促進していく。

第5章 広報・PR事業

市民全員参加の周年事業を実施していくうえで、50周年をお祝いする気運の醸成が不可欠である。そのためには、広報紙、広報番組、SNS等の各種媒体を使った積極的な情報発信が求められており、その広報・PRの手法が周年事業成功の鍵を握るといえる。

1 キャッチコピーとロゴマーク

市制施行50周年記念事業を実施し、基本方針の達成を目指すうえで、キャッチコピーの設定は、事業趣旨を端的に表すことができる有効な手段であるといえる。また、ロゴマークについても、統一したデザインを使用しての広報展開が可能となり、市民と市が一丸となって50周年を盛り上げるという意味でも効果的であると考えられる。

そこで、キャッチコピーとロゴマークについては、別紙募集要項のとおり公募によるものとし、基本方針やテーマの趣旨を踏まえ、市への愛着、将来への期待などを表現したものであり、かつ、市民の心を強くとらえるような、明るく印象的な文言やイラストであるものを選定することとする。選定方法については、小・中学校の子ども達を含めた市民の投票方式で参加の機会を確保し、市制施行50周年の1年前である平成27年10月1日に発表することで、気運の盛り上がりを図る。

なお、決定したキャッチコピーやロゴマークは、広報紙やチラシなどの刊行物や、ホームページやSNSなどにおいて活用していく他、市民や団体、企業等が実施する連携事業においても活用していただけるよう、積極的に周知を行う。

戸田市市制施行50周年キャッチコピー&ロゴマーク 募集要項

1 キャッチコピー・ロゴマーク募集の目的

戸田市は、平成 28 年 10 月 1 日に市制施行 50 周年を迎えます。

市制施行 50 周年は、戸田市が未来に向けてさらに歩みを進める大きな節目です。市では、50 周年を単なる形式的な行事ではなく、市民とともに祝う重要なイベントと捉え、下記の基本方針・テーマに基づき、市を挙げて記念事業を実施していきたいと考えております。

そこで、市民と市が一丸となって 50 周年を盛り上げ、基本方針の達成を図るため、キャッチコピーとロゴマークの募集を行います。

2 募集内容

(1) キャッチコピー

基本方針とテーマに沿ったもので、50 周年を 20 文字以内で端的に表現するもの

(2) ロゴマーク

基本方針とテーマに沿ったもので、50 周年を一目で印象付けるもの

◆採用されたキャッチコピー、ロゴマークは市制施行 50 周年記念事業に係る印刷物・ポスター・広報戸田市・各種資料等に活用します。

3 募集資格

戸田市内在住・在学・在勤

※プロ・アマを問いません

4 募集条件

(1) 戸田市制施行 50 周年記念事業を効果的に PR するものであること。

(2) 市制施行 50 周年記念事業の基本方針やテーマに沿ったものであること。

(3) 自作の未発表作品であること。

(4) 応募者に著作権が属しているものであること。

(5) キャッチコピーについては、端的に表現するものであること。

(6) ロゴマークについては、色数は自由であるが、単色・モノクロでの使用も考慮すること。

5 募集期間

平成 27 年 5 月 1 日 (金) ~ 平成 27 年 6 月 30 日 (火)

※郵送の場合は当日消印有効。Eメールの場合は当日到着分まで有効。

6 応募点数

制限なし。

ただし、キャッチコピーは応募用紙 1 点につき 3 作品まで、ロゴマークについては応募用紙 1 点につき 1 作品までとします。

キャッチコピーのみ、ロゴマークのみの応募も可能です。

7 応募方法

(1) 用紙による応募

所定の応募用紙あるいは、応募用紙に準じた白色用紙（A4サイズ）を使用し、必要事項を記入のうえ、持参もしくは郵送により提出してください。

(2) 電子データによる応募

ロゴマークのファイル形式は、J P E GまたはG I Fで、データサイズは2MB以内としてください。

必要事項を記入し、E-M A I Lにより提出するか、保存したC D-R等を持参もしくは郵送してください。

(3) その他

・応募用紙は戸田市ホームページからダウンロードできます。

（P D F形式及びE x c e l形式）

・郵送・持参・電子メールのいずれかの方法により提出してください。

・応募作品ごとに、所定の応募様式に必要事項

【氏名・フリガナ、年齢、職業（学生の場合は学校名・学年）、住所、電子メールアドレス、電話番号、作品の説明（200字以内）】

を記載し提出してください。

・ロゴマークは上下がわかるようにしてください。

8 応募先

〒335-8588

戸田市上戸田1-18-1

戸田市役所 政策秘書室 秘書担当宛

電話：048-441-1800（内線434）

F A X：048-431-6790

E-Mail：hisyo@city.toda.saitama.jp

9 選考方法

・審査は戸田市市制施行50周年記念事業実行委員会で選考を行った後、平成27年8月に市民の皆様による投票を実施し、決定する予定です。

・採用者には、結果を通知し、住所の一部と氏名を公表します。

・採用者以外の方には、この公表をもって結果通知に代えることとします。

・入選発表は、平成27年10月頃を予定しております。

10 表彰式

・採用者には、平成28年10月1日（土）に挙行される市制施行50周年記念式典において、表彰状と副賞（キャッチコピーは戸田市共通商品券2万円分、ロゴマークは戸田市共通商品券3万円分）の授与を行います。

11 その他

・応募用紙及びC D-R等は原則、返却しません。

・制作、郵送料等の応募に係る費用は、応募者の負担とします。

・第三者に権利侵害等で損害を与えた場合は、戸田市は一切の責任を負いません。

・応募された作品の著作権、商品化権、商標権その他一切の権利は、戸田市に帰属するものとします。

・採用されたデザイン案は、加工または調整させていただく場合があります。

戸田市市制施行50周年記念 キャッチコピー応募用紙

◆キャッチコピー

1

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

キャッチコピーの作品の意図、理由、イメージをご記入ください。

氏名		年齢	
住所	〒 -		
性別	男 ・ 女	職業 (学校名・学年)	
電話	()	FAX	
E-MAIL	☐		

- ◆記入漏れのないよう、ご注意ください。
- ◆応募者情報の年齢・性別・職業・FAX・E-MAILの記入は任意です。
- ◆応募された時点で、募集要項を了承したものとします。

戸田市市制施行50周年記念 ロゴマーク応募用紙

◆ロゴマーク

ロゴマークの作品の意図、理由、イメージをご記入ください。

氏名		年齢	歳
住所	〒 -		
性別	男 ・ 女	職業 (学校名・学年)	
電話	()	FAX	
E-MAIL	◎		

- ◆記入漏れのないよう、ご注意ください。
- ◆応募者情報の年齢・性別・職業・FAX・E-MAILの記入は任意です。
- ◆応募された時点で、募集要項を了承したものとします。

2 キャラクターについて

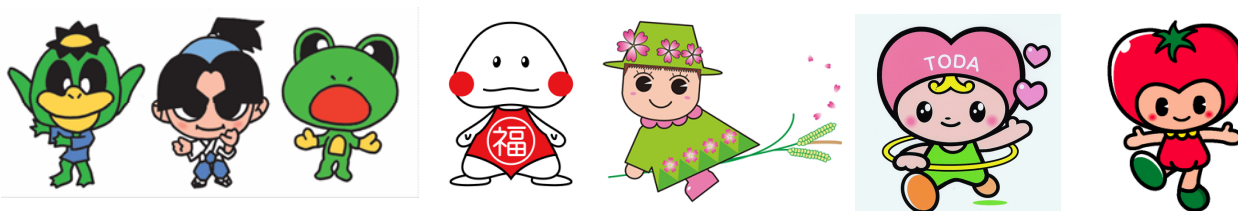
現在、戸田市には統一キャラクターが存在しない。昨今のゆるきゃらブームにより、周年事業とキャラクターを連動させている自治体は多く、効果的なPRに繋がると考えられる。そこで、検討委員会では、戸田市における周年事業とキャラクターとの連動、統一キャラクターへの見解についても議論した。

まず、戸田市において現在活躍中のキャラクターについて各課に照会を行った。その結果、既に17種類のキャラクターが存在することが分かった。そのうち、着ぐるみがあるキャラクターは「げんちゃんファミリー」「と〜ぶく」「とだみちゃん」「トッピー」「トマピー」の5種類であり、現在も市内の各種イベントに参加し、人気を博している。

50周年を迎えるにあたり、統一キャラクターを定めるかどうかであるが、全てのキャラクターが様々な使命を持って誕生したものであることから、戸田市においては新規で作成したり、統一をすることなく、それぞれのキャラクターを一層活躍させることで、50周年を盛り上げていくこととする結論に至った。

キャラクターの効果的な起用方法については、今後の実行委員会や担当課における課題とする。

例) 着ぐるみのあるキャラクター



げんちゃんファミリー (かっば げんちゃん、ゲエロ)

と〜ぶく

とだみちゃん

トッピー

トマピー

3 市制施行50周年カウントダウン

市民の皆様や市内で活躍する団体・企業、市が一丸となり、市制施行50周年を祝うため、平成28年10月1日(土)の50日前となる平成28年8月12日(金)から、市民や市内で活躍する団体・企業や市にゆかりのある有名人等から写真及びお祝いコメントを募り、市ホームページ及びSNSに日替わりで掲載し、カウントダウンを行う。

◆日めくりカレンダー方式で掲載 (例)



4 市ホームページやSNSによる広報・PR活動

迅速かつ、市内外への情報発信という視点では、市ホームページの他、Facebook、TwitterなどのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用した広報活動が効果的であることから、積極的に活用していくこととする。しかしながら、あくまでも「市民全員参加」が基本であることから、日常的にこれらを利用していないような方々や、幅広い年齢層に向けての広報という視点も怠らないよう留意する。

第6章 検討委員会について

1 組織

資料1 「戸田市市制施行50周年記念事業検討委員会要綱」のとおり

2 委員構成

戸田市市制施行50周年記念事業検討委員会委員名簿

区分				氏名	備考
1	1号 委員	一般公募市民		管 信利	公募
				吉田 直美	公募
2	2号 委員	学識経験者		山崎 雅俊	市議会議員
				江添 信城	校長会
3	3号 委員	関係団体から推薦を受けた者	委員長	江口 久雄	観光協会
			副委員長	田中 治夫	商工会
				本橋 弘道	町会連合会
				大山 賀市	体育協会
				篠崎 健次	文化協会
				秋元 隆志	レクリエーション協会
				石橋 勝男	老人クラブ連合会
				江口 桂	とだわらび青年会議所

3 委員任期

平成26年6月26日～平成27年3月31日

4 所掌事務

- (1) 記念事業の基本方針及びテーマの検討に関すること。
- (2) 記念事業の選考及び計画の策定に関すること。
- (3) その他記念事業に関し必要な事項。

5 検討委員会実施状況

実施計画書の作成にあたり、5回の検討委員会を開催し、下記のとおり各種検討を行った。

日程	時間	主な内容
6月26日(木)	午後6時45分～	第1回検討委員会 ・委嘱状交付 ・50周年事業について
8月		基本方針についての文書照会送付
9月29日(月)	午後7時00分～	第2回検討委員会 ・基本方針(テーマ)について ・キャッチコピーとロゴマークについて ・連携事業の検討について
10月		全庁照会 ・各課における50周年記念事業(案)の把握
12月19日(金)	午前10時00分～	第3回検討委員会 ・キャッチコピーとロゴマークの選定について
平成27年1月		全庁照会 ・キャラクターの把握について
1月27日(火)	午後7時00分～	第4回検討委員会 ・記念事業の選定について
2月23日(月)	午後7時00分～	第5回検討委員会 ・実施計画書について
3月		市長に報告

第7章 今後のスケジュール

検討委員会では、記念事業の基本方針とテーマ、記念事業の選考及び計画の策定に関して検討してきた。

平成27年度からは、記念式典をはじめとした各種記念事業を円滑に実施するため、「戸田市市制施行50周年記念事業実行委員会」を設置し、「市制施行50周年記念事業 今後のスケジュール」を基本に準備を進め、記念事業を実施していく。なお、委員は継続性を考慮し、検討委員会委員が引き継ぐことが望ましいと考えられることから、依頼の際は推薦団体に意向を伝えていくものとする。行政内部の体制については、平成27年度から専門の担当を設置し、対応を強化していくことが望ましい。なお、準備にあたっては、実行委員会に式典・祭り・広報・PR等の部会をそれぞれ設置し、詳細については部会で検討していくことで円滑な事業の実施に努める。

市制施行50周年記念事業スケジュール（平成27年度から平成28年度）

	全体	キャッチコピー&ロゴマーク	式典	祭り	広報・PR	その他
		(5月1日号広報 公募記事提出)				
平成27年4月	(実行委員会要綱施行)					
4月下旬	第1回実行委員会 ・キャッチコピー&ロゴマークの公募及び発表方法について ・部会の設置について	(確認)公募について	部会割振り	祭実施内容検討 部会割振り	部会割振り	
			部会委員の選出	部会委員の選出	部会委員の選出	
平成27年5月		5月1日～6月30日 5月中旬	5月1日号広報 キャッチコピー&ロゴマーク 公募 校長会依頼及び児童生徒 用募集要項配布	(必要に応じて)部会	(必要に応じて)部会	【周知】 キャッチコピー&ロゴ マークの公募について
				(必要に応じて)部会		
平成27年6月		6月末	(8月1日号広報記事提出)			
			ゲスト選定			補助金交付要綱(案)作成
平成27年7月	第2回実行委員会 ・最終選考ノミネート作品決定 ・式典のゲストについて ・補助金交付要綱について ・部会報告	7月上旬	公募作品発表 最終選考ノミネート作品決定	部会経過報告	部会経過報告	部会経過報告
			概算予算算出	概算予算算出	概算予算算出	
平成27年8月	(補助金検討委員会) (政策プレゼンテーション)	8月1日～8月20日	8月1日号広報 キャッチコピー&ロゴマーク の投票について 市民投票			【周知】 キャッチコピー&ロゴ マークの投票について
	第3回実行委員会 ・キャッチコピー&ロゴマーク の決定について ・10月1日発表について ・部会報告	8月下旬	投票結果発表及び決定	部会経過報告	部会経過報告	部会経過報告
		8月末	(10月1日号広報記事提出)			8月末 (10月1日号広報記事提出)
平成27年9月			発表準備			
平成27年10月	キャッチコピー&ロゴマーク発表 (政策的経費予算要求提出)	10月1日	10月1日号広報 キャッチコピー&ロゴマーク の決定について及び連携事 業の募集について			【周知】 キャッチコピー&ロゴ マークの決定について
						10月1日 10月1日号広報 キャッチコピー&ロゴマーク の決定について及び連携事 業の募集について

	全体	キャッチコピー&ロゴマーク	式典	祭り	広報・PR	その他
平成27年11月						
平成27年12月	12月中旬 第4回実行委員会 ・部会報告等		部会経過報告	部会経過報告	部会経過報告	
平成28年1月						1月下旬 庁内照会(記念事業について) 1月末 (3月1日号広報記事提出)
平成28年2月						
平成28年3月						3月1日 3月1日号広報 連携事業の募集について
	3月下旬 第5回実行委員会 ・式典のプログラム等について ・表彰基準について ・記念事業の把握について ・部会報告		部会経過報告 (プログラム、ゲスト、来賓、表彰、記念品)	部会経過報告	部会経過報告	記念事業の把握
平成28年4月	記念事業スタート				4月1日～3月31日	【周知】記念事業PR
平成28年5月			5月末 (7月1日号広報記事提出)			
平成28年6月						
平成28年7月	7月上旬 第6回実行委員会 ・部会報告		7月1日号広報 表彰候補者の推薦について 部会経過報告	部会経過報告	部会経過報告	
			7月下旬 (文化会館)プレ打ち合わせ 7月末 (9月1日号広報記事提出)	7月末 (9月1日号広報記事提出)		
平成28年8月			8月上旬 表彰審査委員会 招待状送付 祝辞等依頼 表彰状、記念品等準備 8月下旬 (文化会館)舞台打ち合わせ 事務打ち合わせ		6月12日～9月30日	カウントダウン
平成28年9月	9月上旬 第7回実行委員会 ・当日のスケジュールについて ・部会報告		9月1日 9月1日号広報 記念式典の挙行について 部会経過報告	9月1日 9月1日号広報 記念祭の開催について 部会経過報告		

	全体	キャッチコピー&ロゴマーク	式典	祭り	広報・PR	その他
平成28年10月	10月1日 市制施行50周年記念式典 市制施行50周年記念祭		運営	運営	運営 【周知】 記念式典、記念祭	
平成28年11月						
平成28年12月	12月中旬 第8回実行委員会 ・式典等実施報告		実施報告	実施報告	実施報告	
平成29年1月						
平成29年2月						
平成29年3月						
平成29年4月						
平成29年5月	5月 第9回実行委員会 ・記念事業実施報告		報告	報告	報告	報告

戸田市市制施行50周年記念事業検討委員会要綱

平成26年3月31日市長決裁

(設置)

第1条 戸田市市制施行50周年を記念する各種事業（以下「記念事業」という。）の実施に関し必要な事項を検討するため、戸田市市制施行50周年記念事業検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 記念事業の基本方針及びテーマの検討に関すること。
- (2) 記念事業の選考及び計画の策定に関すること。
- (3) その他記念事業に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）は、15人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 公募による市民
- (2) 学識経験者
- (3) 市内の各種団体から推薦を受けた者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成27年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によるものとする。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長が決するものとする。

(部会の設置)

第7条 委員長は、必要に応じて部会を設置することができる。

(報告)

第8条 委員長は、委員会における検討結果を取りまとめ、市長に報告する。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、政策秘書室において処理する。

(その他)


第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成26年6月26日から施行する。

參考資料

戸田市のあゆみ

<p>昭和41 (1966)</p>	<p>市制施行（県下24、全国561番目）</p>	 <p>戸田市は昭和41年（1966）10月1日に、埼玉県内で24番目の市として誕生。当時の人口は55,110人、15,061人。</p>
<p>昭和42 (1967)</p>	<p>戸田電話局開局式。埼玉国体が開かれ、戸田ポートコースで漕艇競技が行われる</p>	
<p>昭和43 (1968)</p>	<p>三領樋門排水場完成（毎秒10トン1基）</p>	
<p>昭和44 (1969)</p>	<p>全国で初の学童等災害共済制度発足</p>	
<p>昭和45 (1970)</p>	<p>新大宮バイパス全線開通。老人医療費給付制度発足。新市庁舎落成</p>	 <p>昭和45年1月28日 大宮バイパス全線開通</p>  <p>新市庁舎完成間近</p>  <p>新市庁舎空撮</p>
<p>昭和46 (1971)</p>	<p>戸田市総合振興計画の基本構想決まる</p>	
<p>昭和47 (1972)</p>	<p>乳児の医療無料化制度発足</p>	
<p>昭和48 (1973)</p>	<p>緑化事業の一環として結婚、誕生の記念樹制度が発足。国保10割（世帯主）給付制度発足</p>	

<p>昭和50 (1975)</p>	<p>バイパス西側に新設バス路線開通。第1回「戸田ふるさと祭り」開催</p>	 <p>第一回ふるさと祭り</p>
<p>昭和51 (1976)</p>	<p>戸田市総合振興計画第2次5か年計画スタート。市の花サクラソウ、市の木モクセイ制定</p>	
<p>昭和53 (1978)</p>	<p>新戸田橋上り線が開通（全線開通となる）</p>	 <p>昭和53年12月6日 新戸田橋開通する</p>
<p>昭和54 (1979)</p>	<p>戸田、浦和、与野市議会が新幹線の建設容認を決議</p>	
<p>昭和55 (1980)</p>	<p>通勤新線の新駅決定する（市内3か所）。スポーツセンターオープン</p>	
<p>昭和56 (1981)</p>	<p>文化会館オープン。戸田市総合振興計画第3次5か年計画スタート。戸田市歌制定。戸田市史発行</p>	 <p>昭和56年 文化会館完成</p>
<p>昭和57 (1982)</p>	<p>東北新幹線・通勤新線工事起工式が行われる</p>	 <p>新幹線工事</p>  <p>戸田橋新幹線工事</p>
<p>昭和58 (1983)</p>	<p>道満グリーンパーク、遊技広場、野球場、キャンプ場などが完成</p>	
<p>昭和59 (1984)</p>	<p>中国開封市と友好都市締結。市立図書館および郷土博物館オープン</p>	 <p>市立図書館および郷土博物館</p>
<p>昭和60 (1985)</p>	<p>東北・上越新幹線上野駅始発開業する。埼京線開通。</p>	

		 <p>祝 埼京線戸山開通 東京北鉄道管理局</p> <p>開駅式</p>  <p>昭和60年10月 埼京線一番電車 戸田公園駅</p>
昭和61 (1986)	埼京線新宿まで延伸	
昭和63 (1988)	戸田公園大橋完成	 <p>昭和63年 戸田公園大橋開通</p>
平成元 (1989)	道満グリーンパーク全面完成	
平成4 (1992)	市内局番が3ケタになる。豪州リパブール市と姉妹都市提携。 東京外かく環状道路開通（和光—三郷間）。埼玉県児玉郡美里町と姉妹都市提携。	 <p>祝 東京外かく環状道路 東京外環自動車道 開通</p> <p>平成4年 東京外環開通式ハサミ入式</p>
平成5 (1993)	静岡県田方郡戸田村・福島県西白河郡大信村と姉妹都市提携。 首都高速板橋戸田線が開通。	 <p>祝開通 高速白雲池袋線 戸田南～美女木</p> <p>首都高速 高速5号池袋線 戸田南～美女木開通</p>
平成8 (1996)	人口10万人を突破（県下18番目）。市制施行30周年。	
平成10 (1998)	首都高速埼玉大宮線開通。戸田市都市マスタープラン決定。	
平成11 (1999)	情報公開制度・個人情報保護制度がスタート	
平成12 (2000)	戸田市ホームページ開設。戸田市第3次総合振興計画基本構想決定	

<p>平成13 (2001)</p>	<p>戸田市が環境管理のための国際標準規格 ISO14001 を認証取得。 市制施行 35 周年。コミュニティ・バス「toco」運行開始。</p>	 <p>初代トコバス</p>
<p>平成14 (2002)</p>	<p>人口が11万人を突破。県南4市合併問題で戸田市民が独自のまちづくりを選択。東京臨海高速鉄道りんかい線と埼京線の直通運転開始</p>	
<p>平成15 (2003)</p>	<p>国際理解教育推進特区が認定され、小学校で英語の授業を実施</p>	
<p>平成16 (2004)</p>	<p>彩の国まごころ国体開催</p>	
<p>平成18 (2006)</p>	<p>ボランティア・市民活動支援センターオープン</p>	 <p>ボランティア・市民活動支援センター開所式</p>
<p>平成19 (2007)</p>	<p>埼玉県地域子育て応援タウンに認定。サステナブルシティ調査総合評価全国第3位。</p>	
<p>平成20 (2008)</p>	<p>人口が12万人を突破。戸田ポートコースでイケチョウ貝による水質浄化活動を開始</p>	
<p>平成21 (2009)</p>	<p>環境未来都市に認定。(県内初)</p>	
<p>平成22 (2010)</p>	<p>戸田公園駅前行政センターオープン。</p>	 <p>戸田公園駅前行政センター</p>
<p>平成23 (2011)</p>	<p>福祉保健センターオープン。戸田市第4次総合振興計画スタート。市制施行45周年</p>	 <p>福祉保健センター</p>
<p>平成24 (2012)</p>	<p>「戸田市暴力団排除条例」を可決。戸田公園駅前行政センターでパスポートの申請・交付手続きを開始。</p>	
<p>平成25 (2013)</p>	<p>戸田市の人口が13万人を突破。</p>	
<p>平成26 (2014)</p>	<p>戸田市自治基本条例を制定。新曽南多世代交流館「さくらパル」がオープン。戸田市コミュニティアプリ「toco ぶり」がスタート。全国市区の経営革新度調査 全国8位(県内1位)</p>	 <p>新曽南多世代交流館「さくらパル」</p>